

農 大

だより

令和6年4月30日発行
愛知県立農業大学校

〒444-0802 岡崎市美合町字並松1-2
Tel: 0564-51-1601 Fax: 0564-51-4831
E-mail noudai@pref.aichi.lg.jp
ホームページ: <https://www.pref.aichi.jp/soshiki/noudai/>

令和6（2024）年度版



令和6年度のスタートです！



CONTENTS

- 1 新年度あいさつ
- 2 令和6年度入学式
- 3 先輩から新入生へのメッセージ
- 4 トピックス
各専攻トピックス
新年度スタート～始業式～
新規就農希望者向けニューファーマーズ研修
- 5 お知らせ

愛知県立農業大学校
公式HP



Instagram



X (旧 Twitter)



新年度あいさつ



校長 恒川靖弘

この4月から校長を務めることになりました恒川と申します。よろしくお願いいたします。

関係の皆様には、日頃より、本校の教育・研修活動に御理解と御協力をいただき、深く感謝申し上げます。

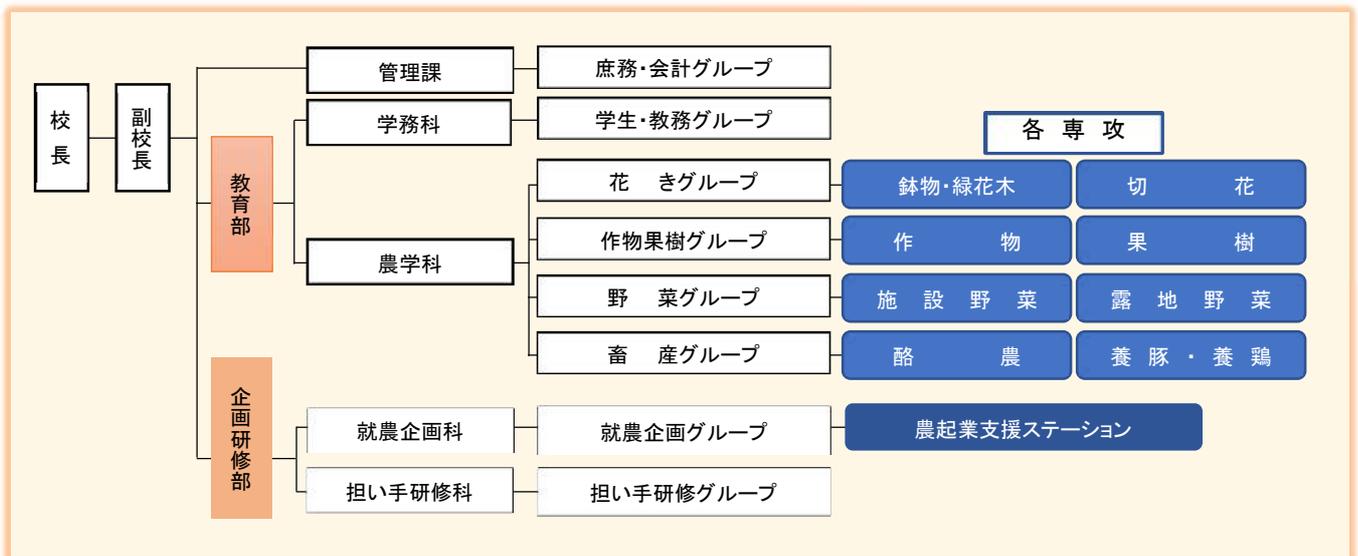
本年度は4月10日（水）に入学式を行い、教育部農学科に新入生79名が入学しました。翌11日（木）には始業式を行い、2年生91名を含めて総勢170名で新年度がスタートしております。始業式の翌日からは、早速、本格的に実習や授業が始まっています。

また、企画研修部では、4月早々から就農希望者の相談が始まるとともに、4月18日（木）のニューファーマーズ研修の開講を皮切りに、今後、そのほかの研修も順次始まってまいります。

これからの季節、農業大学校は多くの学生や研修生で、にぎやかで活気に満ちた雰囲気に包まれます。本年度が、学生や研修生にとって有意義な1年になることを期待しています。

近年、世界的にみると、各地で起こっている紛争や、自然災害の発生、気候変動の影響などにより、食料生産が不安定な状況にあり、我が国においても食料安全保障の強化に向けて農業政策の見直しが進められるなど、改めて「食の大切さ」が問いかけています。

本校は、昭和9年に追進農場として創設されて以来、今年で90年を迎えます。この歴史と伝統をしっかりと受け継ぎ、我々の食の原点である農業の担い手の確保・育成に向けて、様々な教育・研修活動に職員一同、精一杯取り組んでまいりますので、皆様のあたたかい御理解と御協力をお願いいたします。



令和6年度 入学式を挙りました



厳肅な雰囲気で行われた入学式

教育部農学科の入学式を4月10日（水）に挙りました。暖かな春の日差しが降り注ぎ、校内の青々とした木々も新入生の入学を歓迎するようでした。

厳肅な雰囲気の中、今年は79名（男子55名、女子24名）が入学し、これから始まる新しい学生生活を迎えるにあたって、不安と期待が入り混じった緊張した表情で式に臨んでいました。

新2年生91名と合わせ、170名（男子117名、女子53名）の学生数となり、全国の農大でもトップクラスの規模となっています。

式終了後は、学生証の交付等の入学手続きや実習服等の受け取りなどが行われました。

新入生それぞれがこれから始まる2年間を有意義に過ごし、高度な技術を習得するとともに、社会性を身につけて本県の農業を担うリーダーとして大きく成長することが期待されます。

（学務科 柳田 美紀）



知事祝辞 今田農業水産局長



来賓祝辞 山口後援会長



入学式宣誓
新入生代表 原田颯稀さん



歓迎の言葉
在校生代表 田中咲蘭さん

～ 先輩からのメッセージ ～



先輩から新入生へ励ましのメッセージです!



私たち鉢物・緑花木専攻では、シンビジウム、コチョウラン、シクラメン、観葉植物及び花木などの様々な種類の花を扱っています。

作業が忙しいときや栽培が上手にできないときもありますが、気を落とさずに皆で協力して楽しく実習をしましょう。

鉢物・緑花木専攻 専攻長 西尾優大



私たち切花専攻ではキク、バラ、洋花を主に扱っており、それぞれの分野に分かれて作業をしています。繁忙期は忙しく大変な作業ばかりになってしまいますが、専攻のみんなで力を合わせて実習をしています。愉快的先輩と一緒に楽しく実習をしましょう!

切花専攻 専攻長 樋口楓



作物専攻では、水稻、小麦、大豆を栽培しています。これらを栽培する上で、多くの機械に触れることができるので、たくさんの技術と経験を積むことができます。また2年生になると1人1つのほ場を任されるので責任重大ですがやりがいのある専攻だと思います。初めてのことで大変なことも多いと思いますが、一緒に頑張りましょう。

作物専攻 専攻長 左右田耀子



果樹専攻では主にブドウ、ナシなど6つの班があり、皆で協力して栽培しています。夏の農繁期は猛暑で作業が大変な場面が多々ありますが、1人1人がチーム一丸となって共に1年を乗り越え、より良いモノを作りましょう。

果樹専攻 専攻長 小笠原泰生



露地野菜専攻は雨ニモマケズ風ニモマケズ夏ノアツサニモマケズに毎日楽しく作業をしています。播種から出荷までの作業を丹精込めて行っています。時には、キャベツの収穫で挫折そうになることもあります。しかし、露地の仲間と作業することで笑顔になり乗り越えてきました。この1年間、1年生と2年生の力を合わせて成長するぞお！！

露地野菜専攻 専攻長 鈴木爽太



私たち施設野菜専攻では、主に大玉トマト・ミニトマト、ナス、キュウリ、メロン、スイカを栽培しています。

施設野菜専攻の仲間は協力的な人たちばかりなので、忙しいときには協力しながら作業を早く進めて、みんなで楽しみながら、一緒に学んでいきましょう！

施設野菜専攻 専攻長 東本恋佳



酪農専攻では、酪農の基本的な知識と技術を勉強します。主な作業は搾乳、牛の餌やり、餌作り、子牛の哺乳です。他の専攻と比べると忙しく大変な専攻ですが、分娩などの命が生まれる姿を見たりなど他にはない楽しさもあります！酪農専攻は元気で明るい専攻なので一緒に頑張りましょう！

酪農専攻 専攻長 彦坂宙



養豚・養鶏専攻では、養豚と養鶏に分かれ専門的に勉強をしています。豚の繁殖は自分たちで一から準備して交配したり、卵の出荷なども自分たちで考えながら責任を持って行っています。忙しい時も辛い時も皆で力を合わせ、知恵を絞り自主的に問題解決できるように頑張っています。

養豚・養鶏専攻 専攻長 松井幸生

専攻トピックス

最近の各専攻で話題になったことや実習風景などをお届けします！

○専攻別学生数

(注)カッコ内は女子の内数

区分	鉢物・緑花木	切花	作物	果樹	露地野菜	施設野菜	酪農	養豚・養鶏	計
1年	6(0)	8(2)	6(1)	13(3)	13(4)	15(2)	12(6)	6(6)	79(24)
2年	7(2)	5(1)	9(2)	15(5)	14(7)	15(3)	15(6)	11(3)	91(29)
計	13(2)	13(3)	15(3)	28(8)	27(11)	30(5)	27(12)	17(9)	170(53)



新1年生とともに 鉢物栽培、がんばります！



この度、新たに6名の仲間が鉢物・緑花木専攻に加わり、1、2年生合わせて13名で今年度が始動しました。

1年生の中には、これまでに花の栽培や農業実習の経験がない学生もいますが、とても前向きに取り組んでおり、今後の戦力となること間違いなしです。当専攻で育てる植物の最大の特徴は地面に植わっていないことであり、かん水がとても重要な技術となります。植物の生育に合わせた水やりは、植物をよーく観察しないとできません。しっかり観察して鉢物栽培をマスターしていきましょう！



祝入学！今年度の1年生も精鋭揃いです

新入生8名を切花専攻に迎えて3週間が経ちました。今年度の1年生も非常に意欲的な学生ばかりで、少人数ながらもレベルの高い実習ができそうな予感がしています。そんな切花専攻に早速、贈答用アレンジメントの作成依頼が舞い込んできました。かなり高度なミッションですが、アレンジメント経験のある1年生が名乗りを上げ、2年生にも引けを取らない見事な作品を完成させてくれました。

他にも様々な技術を持った学生が集まっており、学生同士で切磋琢磨するには最高の環境が出来上がっています。2年という短い期間の中でも、とてつもなく大きな成長が見られるのではないかと期待しています。





夏野菜の定植を実施！



4月に入り暖かくなってきました。育苗ハウスの苗は定植時期になりました。しかし、4月上旬に雨が続き、畑が水浸しになりなかなか水が引かませんでした。そのため、畑が乾いてきたら学生と急いでうね立て、マルチ、トンネル張りを行い、定植を進めました。作業は多かったです。学生は笑顔を見せながら作業をしていました。夏野菜の収穫開始時期は6月頃になる予定です。



新入生が加わります 賑やかに！

今年度施設野菜専攻には15名（男子13名、女子2名）の新入生が加わりました。2年生と合わせて合計30名となり、さらに賑やかになりました！1年生は先輩や先生から栽培管理方法や出荷調製などのやり方を熱心に聞いて、前向きに作業を頑張っています！早く作業に慣れて、明るく活気あふれる専攻にしていきましょう！



今年も田植えが始まる!!

今年はプロジェクト計画の一環として、4月上旬の田植えに挑戦しているため、早くも田植えが始まりました。今年は3月、4月と雨が多く、耕起等の作業が進まないことで苦慮した場面もありましたが、無事に田植えを始めることができました。

今後もおいしいお米を作るために農作業を進めていきたいと思えます。





果樹

新学期の専攻実習が始まりました。

今年度、果樹専攻では、13名の新入生が入学しました。ブドウの花切り作業をはじめ多くの品目で作業が始まっています。1年生も4月中に担当する品目を決めて作業に参加していくので、早くこの環境に慣れたらと思います。

2年生も1つ学年が上がり作業も自分たちでどんどんと進めていて、非常に頼もしいです。この調子で1年生を引っ張って行ってほしいです。



酪農

初めての名づけ

まだ肌寒い日はありますが、過ごしやすい温度になってきました。この季節は、昼夜の寒暖差が激しく、牛の体調にも影響するので気を付けて作業を行っています。

3月末にホルスタインの仔牛とジャージーの仔牛が誕生し、早速新1年生に名前を付けてもらいました。自分たちで名前を付けた牛に愛着をもってもらい、良い牛になるように頑張りたいと思っています。



養豚



養鶏

肉豚出荷が始まりました

昨年度豚舎の大幅な改修に伴い、種付け制限を行っていたため、ここ数ヶ月間は、全く出荷がなかったのですが、4月上旬に待望の出荷が始まりました。今回出荷した肉豚は、豚舎改修後に生まれたため、非常に衛生環境の良い状態で育っています。そのため、群全体の揃いも良く発育良好で予想以上の伸びをしていました。農大は約1ヶ月前に出荷予定を立てなければいけないため、出荷時は予想よりも全体に体重が乗り、肉豚のパワーはとても大きなものでした。学生たちは、久しぶりの出荷と肉豚のパワーに最初は戸惑うこともありましたが、すぐに勘を取り戻しテキパキと積み込みをしていました。



※ 各専攻の様子は、農大のインスタグラム、ツイッターで情報発信しています。

トピックス

新年度スタート ～始業式～

4月11日（木）に、教育部農学科の始業式を行いました。

1、2年生の全学生が集まり、初めての顔合わせとなりました。

始業式の校長講話では、1年生には農業大学校生としての自覚と、自らが考え行動していくことの大切さを、2年生には、就職活動や卒論など多忙となる中でも、先輩として1年生の手本となる責任のある行動をしてもらいたいとの話がありました。

その後、本年度の学生会及び各専攻長の紹介や、職員の紹介を行い、新年度のスタートとなりました。

新2年生は、1年前とは見違える程の逞しさと先輩として自覚ある行動が見て取れ、とても頼もしく感じました。

（学務科 宮本 憲）



大講堂での始業式（1・2年生）



式の後、学生会や職員紹介を行いました



新規就農希望者向けニューファーマーズ研修が始まりました

新規就農希望者を対象とした「ニューファーマーズ研修」が4月18日（木）に開講しました。本研修は、受講生20名で開講し、翌年2月27日までの約10か月間行います。研修生は、地域の先進農家等での実習に加え、本校で営農に必要な知識を講義・演習で学びます。

開講式後のグループディスカッションでは、研修生同士で情報交換をして、知識・技能の習得や将来の夢を語り合い、就農への決意を新たにしていました。

希望に満ちあふれた研修生と過ごす、多忙でにぎやかな1年が始まりました。

（企画研修部 柴田博之）



受講生と関係職員

お知らせ

【新任職員紹介】

校長 恒川靖弘
副校長 佐原茂樹

（管理課）

課長 内藤るみ子
主幹 田島直子
課長補佐 柴田サワ子

（教育部）

教育部長 酒井誠司

（学務科）

学務科長 浅野将宏
総括専門員 柳田美紀

（農学科）

（花きG）
主任専門員 野田輝夫
技師 大橋博子
技師 坂下健

（作物果樹G）

主任 佐野達也
技師 黒野大稀
技師 吉村颯季

（野菜G）

科長補佐 志知昭宏

専門員 嶋本千晶
主任 則竹伸哉

（畜産G）

主任専門員 豊島浩一
専門員 中村星太
神取道信

（企画研修部）

（就農企画科）
科長 鬼頭郁代
主任専門員 安藤実香

（担い手研修科）

主任専門員 柴田博之
技師 水野英之
大谷雅子

